

平成24年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」実績報告書

1. 事業名称

クリエイティブ分野(アニメ・マンガ人材養成産官学連携コンソーシアム)
アニメ・マンガ人材養成産官学連携事業

2. 事業実施期間

委託を受けた日(平成24年 7月31日)～平成25年 3月15日

3. 産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの別

産学官連携コンソーシアム

産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの名称

アニメ・マンガ人材養成産官学連携コンソーシアム

関係するコンソーシアムの名称(職域プロジェクトのみ記入)

4. 分野名

④クリエイティブ(コンテンツ、デザイン・ファッション等)

「その他」分野名

5. 代表機関

■ 代表法人

法人名	学校法人片柳学園
理事長名	片柳 鴻
学校名	日本工学院専門学校
所在地	〒 144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

■ 事業責任者

省略

■ 事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

省略

6. 産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの構成員・構成機関等

(1) 構成機関

	構成機関(学校・団体・機関等)の名称	役割等	都道府県名
1	慶應大学大学院 メディアデザイン研究科	統括委員会委員長	神奈川県
2	日本工学院専門学校	幹事校/事業準備委員、事務局	東京都
3	日本工学院八王子専門学校	幹事校/事業準備委員、事務局	東京都
4	女子美術大学	アニメ分科会委員長・ 職域プロジェクト代表校	東京都
5	宝塚大学 東京メディアコンテンツ学部	アニメ分科会委員	東京都
6	東京工科大学	連携校/アニメ、統括、海外委員	東京都
7	専門学校東京デザイナー学院	アニメ、マンガ分科会委員	東京都
8	日本電子専門学校	アニメ分科会委員	東京都
9	日本動画協会	アニメ、統括、海外対応委員会 委員	東京都
10	株式会社動画工房(練馬アニメーション協議会代表)・練馬区	アニメ、海外対応委員会 委員	東京都
11	株式会社サンライズ(予定)	アニメ分科会委員	東京都
12	株式会社スタジオ4℃	アニメ分科会委員	東京都
13	株式会社ポーンデジタル	アニメ分科会委員	東京都
14	画像情報教育振興協会	アニメ、マンガ分科会委員	東京都
15	京都精華大学	マンガ分科会委員	京都府
16	文星芸術大学	マンガ、統括、海外対応委員会 委員	栃木県
17	日本アニメ・マンガ専門学校	マンガ分科会委員	新潟県
18	専門学校日本デザイナー学院	マンガ分科会委員	東京都
19	トライデントデザイン専門学校	マンガ分科会委員	愛知県
20	大阪総合デザイン専門学校	マンガ、海外対応委員会 委員	大阪府
21	デジタルマンガ協会	マンガ、統括委員会 委員	東京都
22	株式会社小学館	マンガ、統括委員会 委員	東京都
23	株式会社講談社	マンガ、統括委員会 委員	東京都
24	株式会社セルシス	アニメ、統括、海外対応委員会 委員	東京都
25	株式会社ワコム	アニメ、統括、海外対応委員会 委員	埼玉県

(2)協力者等

氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
七丈 直弘	文部科学省科学技術政策研究所 科学技術動向センター 上席研究官	統括委員会委員	東京都
布山タルト	東京藝術大学大学院映像研究科 アニメーション専攻 准教授	アニメ分科会委員	神奈川県
モンキー・ パンチ	漫画家	マンガ分科会委員長	東京都
竹内孝次	元・株式会社テレコム・アニメーションフィルム 代表取締役	アニメ分科会委員・ カリキュラム検討委員会部会長	東京都
増田弘道	日本動画協会事業委員会副委員長	アニメ分科会委員・ カリキュラム検討委員会部会長	東京都
飛坐賢一	エクスアーツジャパン株式会社	事業準備委員	東京都
森永祐一郎	海外マンガフェスタ事務局長	事業準備委員	東京都
村松誠	アンドピクシーズ株式会社 代表取締役	事業準備委員	東京都
清水郁郎	マンガスクール中野 代表	事業準備委員	東京都
小野打 恵	株式会社ヒューマンメディア 代表取締役	事業準備委員	東京都

(3) 産学官連携コンソーシアムの下部組織（設置した場合に記載。職域プロジェクトの場合は記入不要）

名称(アニメ・マンガ人材養成産学官連携コンソーシアム 統括委員会)			
氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
中村 伊知哉	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授	委員長	神奈川県
為ヶ谷 秀一	女子美術大学大学院 美術研究科 教授	副委員長	東京都
モンキー・パンチ	デジタルマンガ協会 会長	副委員長	東京都
七文 直弘	文部科学省科学技術政策研究所 科学技術動向センター 上席研究官	委員	東京都
田中 誠一	文星芸術大学 マンガ専攻 准教授	委員	栃木県
松本 悟	日本動画協会 専務理事 事務局長	委員	東京都
増田 弘道	日本動画協会 事業委員会副委員長	委員	東京都
三上 浩司	東京工科大学メディア学部・東京工科大学大学院 メディアサイエンス専攻 准教授	委員	東京都
横田 清	小学館 取締役	委員	東京都
野内 雅宏	講談社 第7編集局長	委員	東京都
宮井 あゆみ	画像情報教育振興協会 事務局長	委員	東京都
米嶋 貢	ワコム タブレット営業本部営業本部長	委員	東京都
清水 郁郎	マンガヴィジョン 代表	委員	東京都
竹内 孝次	テレコム・アニメーションフィルム 最高顧問	委員	東京都
山田 ゴロ	デジタルマンガ協会 事務局長	委員	東京都
平田 章	セルシス 社長室 室長	委員	東京都
佐藤 充	日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校 クリエイターズカレッジ カレッジ長	副委員長 事務局/事業責任者	東京都
村上 信一	日本工学院専門学校 CGクリエイター科科长 マンガ・アニメーション科科长	事務局/事務担当	東京都
臺野 興憲	日本工学院八王子専門学校 CGクリエイター科科长 マンガ・アニメーション科科长	事務局	東京都

名称(アニメ・マンガ人材養成産官学連携コンソーシアム 海外からの留学・就業対応ワーキング)			
西野 公平	京都精華大学 マンガ学部 マンガ学科 准教授	委員長	京都府
田中 誠一	文星芸術大学 マンガ専攻 准教授	委員	栃木県
増田 弘道	日本動画協会 事業委員会副委員長	委員	東京都
富田 聡	日本電子専門学校 アニメーション科 テクニカルチーフ	委員	東京都
石黒 竜	動画工房 代表取締役	委員	東京都
三上 浩司	東京工科大学メディア学部・東京工科大学大学院 メディアサイエンス専攻 准教授	委員	東京都
山田 裕之	大阪総合デザイン専門学校 部長	委員	大阪府
大野 正拓	少年画報社 メディア事業部長	委員	東京都
宮井 あゆみ	画像情報教育振興協会 事務局長	委員	東京都
米嶋 貢	ワコム タブレット営業本部営業本部長	委員	東京都
清水 郁郎	マンガヴィジョン 代表	委員	東京都
平田 章	セルシス 社長室 室長	委員	東京都
佐藤 充	日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校 クリエイターズカレッジ カレッジ長	委員 事務局/事業責任者	東京都
村上信一	日本工学院専門学校 CGクリエイター科科长 マンガ・アニメーション科科长	事務局/事務担当	東京都
臺野興憲	日本工学院八王子専門学校 CGクリエイター科科长 マンガ・アニメーション科科长	事務局	東京都

名称(アニメ・マンガ人材養成産官学連携コンソーシアム アニメ分科会)			
為ヶ谷 秀一	女子美術大学大学院 美術研究科 教授	委員長	東京都
竹内 孝次	テレコム・アニメーションフィルム 最高顧問	副委員長	東京都
川村 順一	宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部長	委員	東京都
松本 悟	日本動画協会 専務理事事務局長	委員	東京都
増田 弘道	日本動画協会 事業委員会副委員長	委員	東京都
富田 聡	日本電子専門学校 アニメーション科 テクニカルチーフ	委員	東京都
石黒 竜	動画工房 代表取締役	委員	東京都
布山 タルト	東京藝術大学大学院 映像研究科アニメーション専攻 准教授	委員	東京都
三上 浩司	東京工科大学メディア学部・大学院 メディアサイエンス専攻 准教授	委員	東京都
武田 浩	専門学校東京デザイナー学院 学科長	委員	東京都
宮井 あゆみ	画像情報教育振興協会 事務局長	委員	東京都
石橋 俊雄	ポーンデジタル 取締役	委員	東京都
田中 栄子	スタジオ4°C 代表取締役社長	委員	東京都
富岡 秀行	サンライズ 取締役	委員	東京都
七丈 直弘	文部科学省科学技術政策研究所 科学技術動向センター 上席研究官	オブザーバー	東京都
佐藤 充	日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校 クリエイターズカレッジ カレッジ長	副委員長 事務局/事業責任者	東京都
村上 信一	日本工学院専門学校 CGクリエイター科科长 マンガ・アニメーション科科长	事務局/事務担当	東京都
臺野興憲	日本工学院八王子専門学校 CGクリエイター科科长 マンガ・アニメーション科科长	事務局	東京都

名称(アニメ・マンガ人材養成産官学連携コンソーシアム マンガ分科会)			
モンキー・パンチ	デジタルマンガ協会 会長	委員長	東京都
西野 公平	京都精華大学 マンガ学部 マンガ学科 准教授	副委員長	京都府
竹内 一郎	宝塚大学 東京メディアコンテンツ学部 マンガコース主任 教授	委員	東京都
田中 誠一	文星芸術大学 マンガ専攻 准教授	委員	栃木県
高橋 由美	日本アニメ・マンガ専門学校 副校長	委員	新潟県
山田 裕之	大阪総合デザイン専門学校 部長	委員	大阪府
本山 繁	専門学校東京デザイナー学院 学科長	委員	東京都
慶原 伸浩	専門学校 日本デザイナー学院 事務局長	委員	東京都
横田 清	小学館 取締役	委員	東京都
野内 雅宏	講談社 第7編集局長	委員	東京都
宮井 あゆみ	画像情報教育振興協会 事務局長	委員	東京都
矢野 幸治	ワコム マネージャー	委員	東京都
清水 郁郎	マンガヴィジョン 代表	委員	東京都
片桐 孝憲	ピクシブ 代表取締役社長	委員	東京都
金森 吉弘	トライデントデザイン専門学校 校長	委員	愛知県
平田 章	セルシス 社長室 室長	委員	東京都
山田 ゴロ	デジタルマンガ協会 事務局長	委員	東京都
佐藤 充	日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校 クリエイターズカレッジ カレッジ長	副委員長 事務局/事業責任者	東京都
村上 信一	日本工学院専門学校 CGクリエイター科科長 マンガ・アニメーション科科長	事務局/事務担当	東京都
臺野興憲	日本工学院八王子専門学校 CGクリエイター科科長 マンガ・アニメーション科科長	事務局	東京都

7. 事業の内容等

(1) 事業の概要

- ◆アニメ・マンガ分野における人材養成のための専門的技術水準の策定、これによる学習システムの整備
目的:体系的な「アニメ・マンガ学習システム」の整備
⇒目標:現役・目指す方のみならず、若年層まで、また指導者含め
アニメ・マンガの人材養成を体系的に社会に普及
目的:日本ならではの「アニメ・マンガ学習システム」を開発、国際的な日本のアニメ・マンガ学習普及
⇒目標:両分野の成長・国際競争力向上に貢献
- ◆アニメ・マンガ分野共通の人材養成の課題、また個別の課題を解決するため産学官が連携したコンソーシアムを設置
- ◆クリエイティブ分野のデザイン視点によるプロダクトマネジメントプロジェクトを評価

(2) 事業の内容について (産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトにおける具体的な取組内容)

- ◆アニメ・マンガ分野における人材養成のための専門的技術水準の策定、これによる学習システムの整備
【両分野共通】
対象は、既存就業者、新規雇用者、本分野の教育機関で学ぶ学生、異分野で学ぶ学生から、若年層まで、産学がキャリアパスを共有。
海外からの留学・就業希望の実態の調査を実施。
シンポジウムによる普及を実施。
- 【アニメ分野】
アニメ分野は、産業界の現状と課題に対応、国際的競争力あるアニメ学習システム体系化がテーマ。
産業界就業への学習要素の有り方を検討、セミナー・ワークショップによる実証・成果評価を実施。
- 【マンガ分野】
マンガ分野は、デジタル化の動きに対応、日本のマンガの力を生かすデジタル・マンガ学習システムがテーマ。
デジタル化対応がマンガ家、教育機関両方、どの程度進んでいるか不明のためアンケート実施。
- 【クリエイティブ分野デザイン視点によるプロダクトマネジメントプロジェクト】
デザインプロダクトマネジメントのためのツールの構成と方針策定を評価。
- ◆アニメ・マンガ人材養成産学官連携コンソーシアムの設置
【両分野共通】
産業側(アニメは産業団体・個別企業・フリー等就業者、マンガは産業団体・出版社・マンガ家・アシスタント)と、
教育側(大学・専門学校)という関係の連携を強化。
共通の目的・課題・方針を統括委員会で検討、普及活動実施。
アニメ・マンガの人材養成の実務は、各分野ごとに各分科会を設置。
両分野共通で、海外からの留学・就業希望の実態把握を行い、留学・就業プロセス支援を検討。
- 【アニメ分科会】
産業界が人材育成要素を提案、教育機関が協同し、産業界と役割分担して受け入れ実現を検討。
- 【マンガ分科会】
マンガ分科会は、調査実施によって現状把握、課題を検討。学習システム整備・実証の方向を検討。
- 【クリエイティブ分野デザイン視点によるプロダクトマネジメントプロジェクト】
取組の指針・成果を評価。

(3)事業実績について(連携体制、工程、普及方策、計画時に設定した活動指標(アウトプット)・成果実績(アウトカム)の評価等)

<p>【統括委員会】</p> <p>①普及活動</p> <ul style="list-style-type: none">・2月21日(木)13:30～「アニメ・マンガ人材養成シンポジウム」開催。 <p>【アニメ分科会】</p> <p>①カリキュラム検討結果評価</p> <ul style="list-style-type: none">・アニメ職域プロジェクト:カリキュラム検討委員会の2つの部会での検討結果を評価。 <p>②教育機関への普及検討</p> <ul style="list-style-type: none">・検討された産業界就業への学習要素、試行的ワークショップやセミナーの成果の教育機関への導入方法検討。 <p>【アニメ分科会での議論】</p> <ul style="list-style-type: none">・産業界と、教育機関の送り出す人材のミスマッチがある。・産業界が、目指すべき人材養成の指標を示してこなかったのも事実。・各教育機関内で、アニメ産業人材の全体像が把握されておらず、教員の教育に大きなばらつきがある。・産業界として、アニメーター等制作や、プロデューサー等人材にどのようなニーズがあるのか示す必要がある。・アニメの人材養成の体系化は、これまで断続的にとどまっておられ、成し遂げれば意義深い。 <p>【マンガ分科会】</p> <p>①アンケート調査分析</p> <ul style="list-style-type: none">・出版社編集部(マンガ家)、教育機関へのデジタル作画導入状況を調査。 <p>②デジタル作画学習システム構築普及方法を検討。</p> <p>【マンガ分科会での議論】</p> <ul style="list-style-type: none">・昨今のマンガ業界ではデジタルツールの導入が進み、すでにプロとして活躍しているマンガ家へのデジタル化支援、・教育機関でのデジタルツールによる創作指導や、海外からの留学・デビュー希望者への対応が求められ、・産学で日本のマンガを生かしたデジタル創作の指導が必要になっている。 <p>【海外対応ワーキング(両分野共通)】</p> <p>①海外からの留学・就業状況調査検討</p> <ul style="list-style-type: none">・アニメ・マンガ両分野とも、教育機関では留学生が、産業界には就業希望者が増加しているが、情報共有がなされておらず、留学生受け入れや、就業の課題も大きい。・海外からの留学生、就業経験者にヒアリング。留学・就業それぞれの動機や、経緯、課題を抽出、対応方策を検討。 <p>【海外対応ワーキングでの議論】</p> <ul style="list-style-type: none">・留学生は、韓国から中国中心となり、多い学校では20%に達する。・技量の高い学生もいるが、日本語の問題と、卒業後の就業の問題がある。・アニメ・マンガ分野の、卒業した留学生や、就業希望で日本に来た人に対し、アニメでも雇用の面で、マンガはフリーであることから、労働ビザが課題になる。・日本に留学生を受け入れる以外に、海外で日本のアニメ・マンガを教える仕組みを輸出することが、コンテンツの振興にも資するはず。
--

(4)事業終了後の方針について(継続性、発展性等)

<p>【両分野共通】</p> <ul style="list-style-type: none">・再来年度以降、正規カリキュラムや課外講座等での導入を全国の専門学校・大学が図る際に監督行政機関や、・社会全体の認知理解が必要であるため、アニメ・マンガ教育機関共同のフォーラム等の活動により、専門学校の全国・都道府県単位の組織や、大学の全国組織にも新しいカリキュラム編成、学内外に向けた・ワークショップ・セミナー開催等に認知理解を得る。 <p>【アニメ分野】</p> <ul style="list-style-type: none">・産業界・教育機関共同の自立推進母体「アニメ教育フォーラム」(仮)の設立。・産業界と教育機関の間で、検討された産業界就業への学習要素のカリキュラム化を検討。・産業界の協力により教育機関が、既存就業者、志望者・学生、若年層向けワークショップ、産業論カリキュラムによるセミナーを教育機関や学外会場で定期的実施。・指導人材の育成ワークショップ・セミナー実施、認定方法検討。・事業としての自立化を検討。 <p>【マンガ分野】</p> <ul style="list-style-type: none">・マンガ分野職域プロジェクトを立ち上げ、カリキュラムと学習システムを開発。・複数教育機関においてワークショップ、セミナー等でカリキュラムと学習システムをを実証。・アニメと分野と連携して、産業界・教育機関共同の自立推進母体「マンガ教育フォーラム」(仮)を設立準備。 <p>【クリエイティブ分野デザイン視点によるプロダクトマネジメントプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none">・追加検証講座によりカリキュラム修正、カリキュラム運営機関の検討と設立、単位認定制度の検討と確立、・カリキュラム運用の条件整備、講座開設機関の要請・教員養成、第三者評価等の制度整備、学び直しプログラムの検討等が必要。
--